



HPを  
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中!

## 児童たちが米作り学ぶ 管内各地で田植え体験

J A管内では5月、各地域の小学校で田植え体験が行われました。  
29日には、北上市立いわさき小学校の5年生の児童12人が、北上地域青年部の指導を受けながら田植えを体験しました。5年生の佐藤弘直さんは「泥に足をとられて大変だったけど植えるのが楽しかった」と話し、高橋純さんは「元気に育ってほしい。収穫が楽しみ」と出来秋に期待を膨らませました。



青年部の盟友と一緒に田植えをするいわさき小の児童たち

## 試食会で意見募る

J A X 花巻農高の共同開発が進行中!

新商品の共同開発に取り組んでいるJ Aと花巻農業高校食農科学科の3年生は5月12日、母ちゃんハウスだあすこ(花巻市野田)で、洋菓子とおにぎらずの試食会を開きました。材料に花巻産のアワや規格外のサトイモなどを使い、地産地消とフードロス削減を目指しています。

同日はJ Aや市職員、来店客が試食会に参加し、風味や食感に対する感想をアンケート用紙に書き込みました。



スイーツを試食する参加者たち

## 株仕立て、防除の要点確認 小菊の現地指導会を開く

J Aは5月25日、千田悟志さん(北上市和賀町)の圃場で小菊の現地指導会を開きました。

中部農業改良普及センターの職員は株仕立て作業について、草丈確保や病害虫防除の観点から重要な作業だとして、整枝のタイミングや仕立てる本数の確認を行いました。また、市内で発生が確認されているオオタバコガやキクスイカミキリへの対処方法を確認しました。



千田さんの圃場を見学する生産者たち

## 高温と病害虫に注意呼び掛け ハウスビーマンの現地講習会を開く

J Aと中部農業改良普及センターは5月21日と22日の2日間、管内5会場ハウスビーマン現地講習会を開き、気温が高まる時期の管理を確認しました。

21日に高橋篤さん(花巻市石鳥谷町)のハウスで行われた講習会では、同センターの職員が講師を務め、高温対策や病害虫防除などの注意点を説明しました。参加者たちは実際の圃場を見学しながら栽培管理について理解を深めました。



栽培管理を確認し合う参加者たち

## 摘果・防除の要点を確認 管内各地でリンゴ講習会

J A管内で5月中旬に開いたリンゴ講習会では、J A職員が病害虫防除の要点を伝えました。

J A職員は、生育の前進による早めの作業実施を呼び掛けたほか、摘果は満開30日後までを目安に、各農家の主力品種から取り組むことを推奨しました。また、昨年多発したカメモシ類への対応として「園地を観察し、飛来を確認次第、速やかに対処すること」を話しました。



JA職員による摘果を見学する生産者たち(5月13日、花巻市糠塚にて)

## スタントマンの実演で学ぶ 飯豊中学校で交通安全教室

飯豊中学校で交通安全教室

J AとJ A共済連岩手、岩手県警察本部は5月26日、地域貢献活動の一環として北上市立飯豊中学校(北上市村崎野)で交通安全教室を開きました。

同日は、スタントマンが交通事故の例を実演し、生徒たちは交通事故の恐ろしさを体験しました。3年生の伊藤心太さんは「交差点を進む時は右、左だけでなく後ろにも注意して、交通安全を心掛けたい」と話しました。



交通事故の様子を実演するスタントマン

## 田んぼで「どろんこラグビー」 遠野・上郷小学校が初の試み

遠野市立上郷小学校の4、5年生14人は、同校が農業体験学習田として使用する同町の菊池正則さんの田んぼで「どろんこラグビー」に挑戦しました。

釜石シーウェイブスの元選手である佐々木拓磨教諭が指導し、対戦やボール送り、旗取り競争を楽しみました。5年生の平山楓人さんは「泥まみれになって楽しかった。田植えや稲刈りも頑張りたい」と笑顔を見せていました。



泥だらけになりながらラグビーを楽しむ子どもたち

## 千葉職員が最優秀写真 日本農業新聞優績通信員表彰

日本農業新聞優績通信員表彰

企画管理部企画課の千葉紗也香職員は5月8日、東京都で開かれた第56回日本農業新聞全国大会で優績通信員として表彰されました。

千葉職員が撮影し、2月13日付で掲載された「スノーバスターズ」出動 J Aいわて花巻雪下ろし支援」が、令和7年度の年間最優秀写真に選ばれ、審査講評では「地域を支えるJ Aの活動を適格にまとめた秀逸な1枚」と称えられました。



自身が撮影した写真パネルの横で表彰楯を手に受賞を喜ぶ千葉職員